



『東京 2020 : 10 万人プロジェクト  
～東京で 10 万人食べていける明日を～』

## SBS グループとの連携で 北海道からの寄贈食品を受け取り

日本初のフードバンク団体であるセカンドハーベスト・ジャパン（本部所在地：東京都台東区、以下 2 HJ）はこのたび、食品卸企業の仲介によりカップ麺 780 ケース、9,360 食分を受け取りました。さらに、この寄贈食品の受け取りについては、すでに 2 HJ のフードバンク活動支援について協定を締結している SBS ホールディングス株式会社のご協力により、北海道旭川市内から埼玉県八潮市の 2 HJ の配送拠点まで、人にも環境にも優しい鉄道を利用した輸送を実現していただきました。

2 HJ は現在、2020 年の 1 年間に東京都内で 10 万人、神奈川・埼玉で 6 万人に対し「生活を支えるのに十分な食べ物」を渡すことができるフードセーフティネットの構築を目標とする、「東京 2020 : 10 万人プロジェクト」を推進中です。この目標の達成には寄贈食品の大幅増が不可欠であるとともに、寄贈元から支援先までの食品の輸送手段を十分確保できなければ食品があってもそれを必要な方々に届けることができません。

そうしたなか、今回の食品寄贈、および SBS グループによる輸送支援は、まさにこの 2 つの課題を各分野のプロによる連携プレーで解決するものです。食品卸企業にとっては食品ロスの削減と「東京 2020 : 10 万人プロジェクト」への支援、SBS グループにとっては事業を通じた社会貢献につながります。フードセーフティネットの構築という大きな目的に向けて、それぞれの得意分野を持ち寄りながら Win-Win（ウィン ウィン）の関係を構築できたことは、SDGs の 17 番目の目標「パートナーシップで目標を達成しよう」の取り組みを具現化した実績の一つとなりました。

2 HJ では、各種福祉施設を中心に寄贈された食品を順次提供する予定です。また、今後も社会の様々なプレーヤーとのパートナーシップの形を模索・提案し、「東京 2020 : 10 万人プロジェクト」によるフードセーフティネットの構築をめざして活動を拡充していく所存です。

以上

### 【SBS グループについて】

SBS グループ（持株会社：SBS ホールディングス株式会社 代表取締役社長 鎌田 正彦／東京証券取引所市場第一部（証券コード：2384））は、1987 年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

HP : <http://www.sbs-group.co.jp>

### 【セカンドハーベスト・ジャパンについて】

セカンドハーベスト・ジャパン（2 HJ、2018 年 4 月より認定 NPO 法人）は、日本で初めてのフードバンクです。まだ賞味期限があるにも関わらず、様々な理由で売ることのできない食品を集めて、必要な方たちへお渡ししています。日本でのフードセーフティネットの構築を目的とし、児童養護・母子支援・障害者支援等の福祉施設や生活困窮者などに食品の提供を行っています。

HP : <https://2hj.org/> Facebook : <https://www.facebook.com/2ndharvestjapan/?fref=ts>

Twitter : <https://twitter.com/2ndharvestjapan>

<寄付・支援などに関する企業・団体からのお問い合わせ先>

セカンドハーベスト・ジャパン

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 4-5-1 水田ビル 1F

TEL: 03-5822-5371 / FAX: 03-5822-5372

お問い合わせ用メールアドレス、専用フォームなどはこちらから：<https://www.2hj.org/contact/>

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

セカンドハーベスト・ジャパン 広報担当：伊藤（090-2489-4480、PR@2hj.org）